※令和３年度以前入学生用

学校番号	３１７

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新選日本史Ｂ」（東京書籍）						
副教材等	「最新日本史図表　三訂版」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界の歴史全体の流れの中で日本の歴史をとらえ、広い視野から社会を見られるようになりましょう。東アジア全体・世界全体の歴史の流れも確認しながら、その中での日本の歴史を学び、実社会で生きてゆく姿勢と力を身につけます。歴史上の人物の考え方や行動についての挿話を交えながら、歴史の面白さを知りましょう。

２　学習の到達目標

①我が国の歴史の展開を資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
②各時代の特色とその変遷の考察を通じて，我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。
③歴史的思考力をつちかい，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○歴史的事象と現在との結び付きを意欲的に調べ，考え，歴史を学ぶ意味に気付き，関心をもって主体的に学習に取り組めているか。 ○現代の社会が抱える諸課題について，平和で民主的な世界，地域，国，社会を形成していく主体としての自覚をもって考える態度を身に付けているか。	○日本の歴史の展開から課題を見出し，世界の歴史や国際環境等と関連付けて，実証的，多角的，多面的に考察しているか。 ○歴史的に形成された諸課題について，さまざまな立場があることをふまえて，公正に判断しているか。 ○課題についての考察や判断の過程や結果を，適切な方法を選んで効果的に表現しているか。	○日本の歴史を考察するために必要な諸資料を収集し，有用な情報を適切に選択することができるか。 ○得られた資料や情報を効果的に活用し，歴史を探求する学び方を身に付けているか。	○基本的な歴史事象に関する知識を身に付け，各時代の特色を理解しているか。 ○日本の歴史の展開を，地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解しているか。
評価方法	学習活動の様子や発表，討論	学習活動の様子や発表，討論 定期考査	学習活動の様子や発表，討論 レポート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
	第４章　近代国家の形成と国民文化の発展	この時代の人々の姿　近代 1. 開国から明治維新へ 2. 立憲政治の形成と国民文化	 ○ ○	 ○ 	 ○	 ○ ○	a: 開国後、明治維新、立憲政体の成立を経て近代国家が急速に形成された過程の諸課題に関心を持ち、主体的・意欲的に学習活動をしている。 b: 開国後、明治維新、立憲政体の成立を経て近代国家が急速に形成された過程の諸問題を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。 c: 開国後、明治維新、立憲政体の成立を経て近代国家が急速に形成された過程の諸問題に関する諸資料を見学・収集し、考察してその結果を適切に年表・地図などに表現している。 d: 開国後、明治維新、立憲政体の成立を経て近代国家が急速に形成された過程の諸問題について、近代史の座標軸となる知識を踏まえて大観的に捉えることのできる能力を身に付けている。	学習活動の様子や発表、討論 定期考査 レポート
２学期	第４章　近代国家の形成と国民文化の発展	3. 日本の近代化と東アジア 4. デモクラシーと第一次世界大戦 5. 激動する世界と日本 この章のまとめ	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ 	○ ○ ○	a: 日清・日露戦争、第一次・第二次世界大戦を経て国際的地位が向上する過程で生まれた諸課題に関心を持ち、主体的・意欲的に学習活動をしている。 b: 日清・日露戦争、第一次・第二次世界大戦を経て国際的地位が向上する過程で生まれた諸課題を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。 c: 日清・日露戦争、第一次・第二次世界大戦を経て国際的地位が向上する過程で生まれた諸課題に関する諸資料を見学・収集し、吟味・考察してその結果を適切に年表・地図などに表現している。 d: 日清・日露戦争、第一次・第二次世界大戦を経て国際的地位が向上する過程で生まれた諸課題に関する相互の因果関係を公正に読み取る能力を身に付けている。	学習活動の様子や発表、討論 定期考査 レポート

※令和３年度以前入学生用

3学期	第5章　現代の世界と日本	この時代の人々の姿　現代 1. 占領と国内改革 2. 国際社会への復帰と高度経済成長 3. 石油ショックと低成長の時代 4. 新しい国際秩序と日本の課題 この章のまとめ	 ○ ○ ○	 ○	 ○ 	 ○ ○ ○	a: 戦後の経済復興から高度経済成長を経た日本経済の発展と国民生活の変化に関心を持ち、主体的・意欲的に学習活動をしている。 b: 戦後の経済復興から高度経済成長を経た日本経済の発展と国民生活の変化の過程を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。 c: 戦後の経済復興から高度経済成長を経た日本経済の発展と国民生活の変化の過程に関する諸資料を見学・収集し、考察してその結果を適切に年表・地図などに表現している。 d: 戦後の経済復興から高度経済成長を経た日本経済の発展と国民生活の変化の過程に関する相互の因果関係を公正に読み取る能力を身に付けている。	学習活動の様子や発表、討論 定期考査 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。